



オーストラリア・モナシュ大学の語学研修[関連記事7ページ]

歯学部長就任にあたって

歯学部長 齋藤 隆史



今年4月1日付けで歯学部長を拝命しました。歯学部が抱えるさまざまな課題に直面し、その責務と使命の重さに身の引き締まる思いです。近年歯学部を取り巻く環境は大きく変化し、歯学部として適切な対応が日々求められています。歯科医師需給問題に端を発した歯科医師国家試験の難化に対しては、教員が一丸となって取り組み、昨年度の新卒者合格率は85.4%(私立歯科大学17校中3位)という結果が得られました。今後の最重要課題としては、留年率の減少と入学定員の充足が挙げられます。現在、学生の学力多様化に対応すべく学年主任・クラス担任制の強化を図り、きめ細かな学習・生活指導を行うことによって学生のモチベーション維持と各学年での進級へのプロセス管理に努めています。今年度は三者面談を実施し、さらに前期中間試験を導入して、早期に個々の学生の能力に合わせた適切な学習指導を行うシステムを整備しました。

一方で、これからの歯学教育が目指すのは高齢社会のニーズに対応できる歯科医師の養成です。歯学部で

は本学の教育理念「保健・医療・福祉の連携・統合」を具現化するため、医療系総合大学の特長を生かした多職種連携教育を推進しています。新カリキュラムでは、高齢者、有病者、障がい者等への対応に関する他4学部との連携講義・実習を1年次から4年次まで順次組んでいます(看護福祉概論、医療薬学概論、人体運動科学、医療行動科学等)。さらに5年次以降の臨床実習では、北海道医療大学病院・歯科内科クリニックでの診療参加型実習に加え、地域歯科医療および他職種との協働に関して学外医療機関および介護老人福祉施設での実習、要介護者に対する訪問歯科診療実習を実施して、地域連携・多職種連携という視点を持った歯科医師の養成に努めています。今後は5学部がさらに有機的に連携して魅力ある臨床実習教育を組織的に展開することにより、時代の要請に応え得る医療人の育成に邁進し、社会から益々大きな期待、厚い信頼そして力強い支持が得られる存在となるよう努力して行きたいと考えています。

CONTENTS

| | |
|---|----|
| 歯学部長就任にあたって | 1 |
| 教員役職者・新任教員・昇任教員紹介 | 2 |
| 当別キャンパス 中央講義棟増築 | 3 |
| 国家試験結果報告 | 4 |
| 就職状況結果報告 | 5 |
| 2013年度入試結果報告 新入生オリエンテーション | 6 |
| オーストラリア・モナシュ大学語学研修レポート - Bowly-Ainsworth Awardを受賞 ユング・シュテリング病院との医療/技術交流 | 7 |
| 私の学生時代 | 8 |
| OG訪問[看護福祉学部] | 9 |
| 学校法人東日本学園 ○2012年度決算 ○2013年度予算 | 10 |
| 新入生アンケート結果報告 | 12 |
| EDITOR'S NOTE | |